

農作業特報

黒部市
黒部市農業技術会議

稲の生育は、近年値と比較すると、草丈はやや短く、莖数は多めに推移しています。

中干し後、幼穂形成期頃までは間断かん水を行い、根に水分と酸素を十分に補給して、稲体の活力維持に努めましょう。

◇コシヒカリの生育状況（6月26日現在：黒部市生育調査ほ13カ所平均）

	草丈(cm)	莖数(本)		葉齢	葉色
		株当たり	m ² 当たり		
30年	47.2	29.5	594	10.4	4.2
近年	53.1	26.5	517	10.9	4.3

※目標穂数：400本/m²

2. 中干し後の水管理

中干しが終わっていない場合は、早急を実施しましょう。

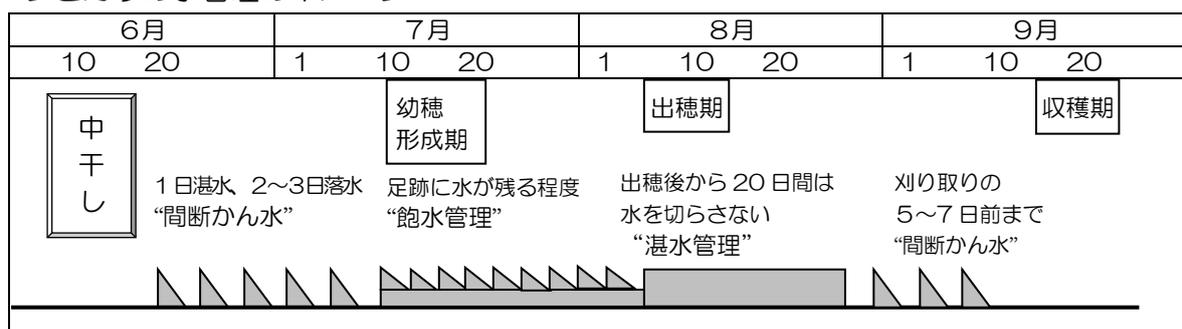
中干しが終わった後は、幼穂形成期頃（平年：7月12日頃）まで「間断かん水」を行いましょう。ため水は厳禁です。

◆間断かん水の目安：1日湛水、2～3日落水。湛水時はヒタヒタ水で。

コシヒカリで、莖数が多く葉色が濃い場合や、中干しが不十分な場合は、落水期間を長くし、やや強めに干しましょう。

（注）肥料を散布する場合は、湛水後に肥料散布し、その後1日で落水せず自然減水してから間断かん水に移ってください。

コシヒカリの水管理のイメージ



3. てんたかくの穂肥

てんたかくの穂肥の目安

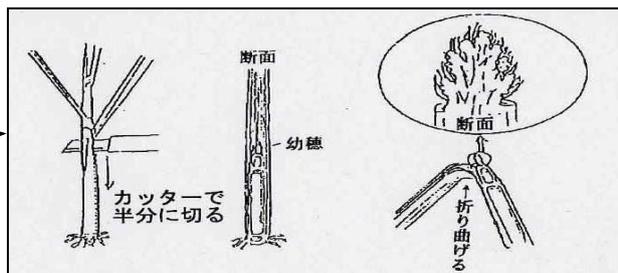
1回目（出穂25日前）				2回目（出穂15日前）	
時期	幼穂長	葉色	肥料名・量	時期	肥料名・量
7/1～3頃	1～2mm	4. 2	追肥化成3号 10kg/10a	1回目施用から10日後	LP追肥38号 15kg/10a

※中山間地では上表の施用時期より遅くなります。幼穂長を確認して施用しましょう。

※1回目の穂肥施用前に葉色が4. 2以下となる場合は、3日程度早めに施用して下さい。

【幼穂確認の方法】

ほ場内で、平均的な生育の株の最も長い茎を根元から抜き取り、図の要領で確認して下さい。



4. 雑草・病害虫の随時防除

○雑草が残っている場合は、後期除草剤を散布しましょう。

除草剤名	散布量	散布時期	注意事項
クリンチャー 1キロ粒剤	※1.5kg /10a	田植後25日～ ノビエ5葉期まで *収穫30日前まで	※増量散布によりヒエ5葉期に効果有 5cm程度の深水にして散布し、その後は 自然減水により管理。
バサグラン 粒剤	3～4kg /10a	田植後50日まで (クログワイは田植 後35日まで) *収穫60日前まで	落水して雑草を露出させ、晴天日を選んで散布する。散布後3～4日間は水を入れない。イネ科雑草以外に効果あり。

○畦畔等の雑草でイナゴ類の発生が多い場合は防除しましょう。

防除時期	農薬	散布量	注意点
6月下旬 ～7月上旬	トレボン粉剤DL	3～4kg/10a	畦畔際を重点に防除する。

5. カメムシ対策

雑草地すくい取り平均頭数
H30 : 7.4頭 H29 : 6.3頭

斑点米の原因となるカメムシ類の生息数は前年より多く、調査地点の9割以上で発生が確認されています。カメムシ類の「すみか」となる畦畔や雑草地の草刈りを行いましょ。また、一斉草刈りの後は、できるだけ雑草の穂が出ないように管理しましょう。

*刈り取った草は、用水に流さないように注意して下さい。

*草刈り時は保護具を着用し、農作業安全に十分注意して下さい。

草刈り運動期間 7月1日（土）～10日（月）
一斉草刈り日 7月7日（土）・8日（日）

主要なカメムシ類



アカヒゲホソドリカスミカメ



アカスジカスミカメ